

# 東風

## こち

発行  
多家良中央  
コミュニティ協議会  
広報委員会  
責任者 高山宏行

### 公民館がコミセンと

#### 来春いよいよ統合に！

多家良中央公民館

館長 西川 義則

多家良中央公民館は、多家良公民館と八多公民館が合併して平成十六年に現在の場所に開館し、以来約二十年間にわたり、地域住民の皆様の学びや交流の場として利用されてきました。私は令和三年から公民館長を務めさせていただき図らずも最後の公民館長となりましたが、多くの方々と知り合うことができ、共に学び、楽しむことができました。来年度よりは、町づくりの新拠点コミュニティセンター（通称コミセン）として新たなスタートを切るようになります。コミセン組織内で新たに就任される生涯学習推進員（旧公民館館長）のもと、生涯学習指導員（旧公民館主事）、そしてまた新たに設けられる生涯学習部会（仮称）の運営委員（旧公民館運営委員）の皆さんと協力して、今までの公民館活動と同様の「生涯学習に関する活動」を引き続き担当し実施することになると思いますので、これまで通りどしどし学びや交流の場としてご利用ください。

なお統合に伴い、大変さみしいことですが八多分館が閉館となります。長い間八多町住民の皆様には交流の場として親しんでいたいただきました。新たに小倉八幡神社事務所が会議、集会、交流の場として利用できるようになっておりますのでお気軽にご利用ください。

ところで、公民館活動に関しては、コロナ禍のため大きな制限がかかっており、足かけ四年間満足のいく催しを開催できませんでした。そんな中、コロナの感染状況をみながら、ふれあい教室・スクラム学級（健康トレッキング、交通安全教室、リースづくり、スマホ教室）の活動はなんとか行ってきました。が、高齢者の皆さんが多数参加される催しの開催は避けてきたのが実情です。それでも、今年五月に新型コロナウイルス感染症が5類に分類移行したのを機に、感染状況を見極めながらではありましたが、できる限り再開して行こうとの方針のもと、四年ぶりに八多町敬老会をコミセンで開催することが出来ました（敬老会会員参加者数三十八名）。参加者の皆さん、コロナ感染が未だ収束していない状況下参加していただきありがとうございます。

今年度もあと少しですが、色々な催しを考えておりますので宜しければご参加ください。また、ご要望等ございましたら公民館までお申し出ください。

### 協議会・コミセンからの

#### 臨時のお知らせについて

多家良中央コミュニティ協議会

広報部長 山城 新吾

平素は多家良中央コミュニティ協議会および多家良中央コミュニティセンターの広報活動にご支援・ご協力をいただき、心より御礼を申し上げます。昨年六月にコミセンのページをリニューアル

しました。また、学童保育のページ、児童館のページなどの追加、防災のページなどの更新を行ってきました。

イベントや災害など、情報発信の素早さを必要とする「臨時」のお知らせにつきましてSNSを使い、X（旧ツイッター）で情報を発信してきました。ところが、Xの仕様変更に伴い、発信された情報を見るには、Xのアカウント開設とログインが必要になってしまいました。閲覧環境を問わず広く見ていただきたい「広報」を目的とするコミセンのSNSとしては適さなくなったと考え、七月末よりXでの更新を停止し、メタ社（旧フェイスブック）の運営する「スレッズ」に移行しました。

臨時のお知らせはコミセンのページの「SNS」およびスマホ用アプリ「Threads（スレッズ）」からご覧いただけます。

皆様には度重なる変更でお手数をお掛けします。今後ともどうぞよろしくお願ひします。



コミセンのSNS（スレッズ）



お手持ちのスマートフォンでQRコードを読み込み、ページをご覧ください。上のQR コミセンのホームページ下のQR コミセンのSNS（スレッズ）

### 就任のご挨拶

多家良協議会

会長 池本 一彦

本年度多家良協議会々長を務めさせて頂いています池本です。よろしくお願ひ致します。さて、本協議会は、その目的を「多家良町発展のため経済及び福祉の向上並びに豊かな人間性の育成に寄与する。」とし、(1)消防、公民館等の各種事業の助成 (2)地域発展のため定期的な会議及び先進地視察 (3)その他多家良町発展のため必要と認める事業の3点の事業を行うと会則で定めています。それは協議会が中心となり、地域住民全員で住みよい町づくりを行うことを意味します。

近年、日本社会は少子高齢化や人口減少、ライフスタイルや価値観の多様化など、人々を取り巻く社会環境が大きく変化し、それに伴い福祉や子育て、安全・安心な環境や防災など地域社会が抱える課題も多岐に渡っています。多家良町も多分に漏れず例外ではありません。これらの課題に対して、行政の力だけでなく多家良町地域住民一人一人が力を合わせ、その解決に向けて取り組むことが大切なことだと思います。

本協議会は町の行事や問題に取り組む活動を通して、地域住民の交流の促進や町の発展に寄与したいと考えます。そして、多家良町地域住民の主体性や創造性、地域特性を生かした住みよいまちづくりを担う協議会でありたいと考えます。

### 八多町協議会だより

八多町協議会

会長 赤地 次男

日頃は八多町協議会の活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

今年度は新型コロナウイルスが5類感染症に移行となり、徐々に地域活動に活気が戻ってきています。感染対策を行いながら開催された敬老会では、願成寺住職の法話や伝統文化を楽しみ、久しぶりの交流の場となりました。

また今年度で使用できなくなる八多分館のかわりに、小倉八幡神社事務所を関係者様のご協力により貸して頂く方向です。これにより地域の活動や集会を継続することができるようになり、一層活発化させていけると思っています。

八多川、仕出川、夏焼谷川の川刈りは増水の影響で一週間延期になりましたが、多数の方に参加していただいたおかげで無事終わることができました。暑い中での作業本当にお世話になりました。

今後とも八多町協議会の活動にご協力頂きますようよろしくお願いいたします。

### 多家良分団だより

徳島市消防団多家良分団

分団長 福本 英司

徳島市消防団多家良分団の福本です。地域の皆さまにはいつもご支援、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

現在、団員は四十七名で活動しています。十一月の活動参加は、多家良八多地区自主防災訓練、動物園子どもカーニバル、防災公開講演会、団員研修等、また十二月二十六日、三十日まで五日間は年末特別警戒で夜間に町内を巡回しています。

令和六年一月七日にはアステイにて徳島市消防出初め式があり、多家良分団が会場にて二十数年ぶりのポンプ車操法の披露をします。操法とは消防訓練における基本的な操作・動作の方式です。九月から毎週一回の訓練に精鋭五名、補助五名が奮闘中で、毎週の練習を頑張っている団員には感謝の気持ち一杯で、市内消防団のなかでも多家良分団の

団員全員を誇りに思います。毎回の活動には全員が参加できず、六十五歳での退職もあり、常に団員は募集中です。五つの町内からの集団ですが皆素晴らしい仲間なので是非とも入団を宜しくお願いします。



令和五年 徳島市消防出初式にて

### 多家良町駐在所だより

多家良町駐在所

所長 住瀬 達哉

多家良町駐在所の住瀬と申します。地域の皆様には、日々警察の諸活動にご理解、ご協力をいただき、心から感謝いたします。

徳島県内においては、依然として特殊詐欺の被害が多発しております。

電話でお金の話が出れば、それは詐欺であると注意していただきたいと思います。

現在NTT西日本では、ナンバー・ディスプレイ及びナンバー・リクエストの高齢者無償化、特殊詐欺対策サービスの無償化、電話番号の変更に関する工事費の無償化といった、電話で「お金」詐欺の防止に向けた取り組みを実施しています。

詳しい内容や適用条件については、NTT西日本特殊詐欺対策ダイヤル（0120-931-965）まで問い合わせ下さい。

特殊詐欺の被害に遭わないためにも、一人で判断に迷った際はすぐに行動を起こさず、必ず他の家族や知人に相談するようにして下さい。

### 多家良保育所だより

多家良保育所

所長 鏡石 ゆかり

地域の皆様には、日頃より多家良保育所の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

保育所では新型コロナウイルスの影響で、この年間様々な行事が規模の縮小や中止を余儀なくされていましたが、今年度は徐々に以前に近いかたちで実施できるようになってきました。この秋、親子遠足や給食試食会も開催し、親子で楽しいひと時を過ごしたり、保育所での様子をご覧いただいたりすることができました。

このように様々な行事を通して、子どもの成長を保護者の方と共有し、喜び合える機会が戻ってきたことを改めて嬉しく思います。

また、子どもたちが今、何に興味や関心をもち、どのように感じているのかなど、子どもの思いを保護者の方々に伝えていくことで子どもの育っていく課程も共有していきたいと感じています。

これからも、保護者の方や地域の方々へ支えていただきながら、子どもたちの気持ちに寄り添い、成長を大切に見守っていききたいと思っております。



多家良保育所 親子遠足

### みんなで話し合い

#### よりよい学校生活をつくりだす

宮井小学校

校長 谷田 裕之

宮井小学校では、昨年度から、「伝え合う活動を通して互いのよさや思いを生かし、よりよい生活をめざして行動できる児童の育成」を研究の主題として、特別活動（学級活動、児童会活動など）の充実に務めてきました。

特に①思いや考えを伝え合う、②よりよい生活やなりたい自分の実現に向けて自主的に活動する、③互いのよさに気づき認め合う、④生活の中から課題を見つけ解決するという4つの視点を大切に、学習活動の計画、実施を行ってきました。各学年の学級会では、学年の発達段階に応じて、全員で役割を交代しながら活発な話し合いを行っています。一人一人の意見を大切にしながらもうまくまとめ、結論を出し、それぞれの課題を解決していきます。

子どもたちのアンケートの結果からも、「話し合い活動は好きだ」、「自分の思いや考えを先生や友だちに伝えている」、「もっとよい学級にしたいと思う」、「自分の目標に向かって行動しようとしている」などの設問において、昨年度よりも肯定的な回答の割合が増えています。

この二年間の研究や実践で、児童の成長を感じています。これからも一人一人の思いが生かされ、みんなが生き生きと学校生活を送ることができるよう、取り組みを進めていきたいと考えています。



はじめまして

宮井学童クラブです

宮井学童クラブ運営委員会  
委員長 音井 美寿々

令和五年四月、多家良中央コミュニティセンター内で二十四名の元気な児童と八名の明るい支援員（先生）でスタートを切りました。地域の方々の多大なるご協力、ご支援のもとで開設することができました。

児童、支援員の方々の、保護者の皆様、地域の皆様にとって、初めての学童保育クラブ（以下クラブ）です。時には、戸惑いや混乱が起こることもあり、そのたびに相談や話し合いをしています。

子どもたちの安心安全を最優先に、工夫・改善し、日々成長を続けております。クラブは毎日子どもたちのにぎやかな声で溢れています。宿題をしたくない日や、好みのおやつじゃない日も、お友達と遊ぶ時には元氣いっぱいです。

向かい合う場所には、児童館があり、児童は支援員と一緒に来館し、たくさんのおもちゃで遊びます。第1・2会議室が利用できるときは、広い場所で鉄棒の練習、長縄跳び、鬼ごっこなどをします。気候が良ければ、外へ遊びに出かけることもあります。クラブの行事で、農家さんのご厚意でいちご狩りをしたり、クラブの畑で収穫し、スイカ割り、焼き芋をしたりしました。おやつに、シャインマスカットの差し入れをいただいたこともありました。多くの生産者の方がいらっしゃる、この地域ならではの感じています。

クラブは市の委託を受け、保護者や地域の方が運営主体となります。地域の子どもたちを、支援員の方々と一緒に地域全体で、安全に健やかに育てていきたいです。感染症が猛威を振るい、子どもたちは地域の方と交流の

機会が減りました。そのような状況の中でも、先人からの学びを、子どもたちに伝えていきたいと考えています。学校のお勉強とは異なる、地域の方から様々な教養を学べる、そんな拠点になっていければと思います。今後とも、ご理解ご協力をよろしくお願ひします。



おもつしよいじよ児童館

多家良中央児童館

館長 福本 輝実

十月二十八日土曜日、じどうかんまつりを行いました。保護者や地域の方々にも手伝っていただき、たくさん子ども達も来てくれて賑わいました。お天気にも恵まれ、コミセン中庭でくじびき・ヨーヨー釣り・スマートボール・お菓子すくいなどを楽しみました。片栗粉を使った科学実験ダイラタンシーでは、裸足になり恐る恐る足をつけては歓声が上がっていました。

今回は、うどん・たこ焼きなどの食事はできませんでしたが、少しずつコロナ前に戻れることを願っています。乳幼児の利用はまだ少ないのですが、十一月八日には丈六保育所在宅育児家庭相談室「あーち」利用の親子がおでかけ保育として児童館に来てくれて楽しく遊び、交流を持つことができました。

このように、地域と繋がり、大人も子どもも児童館を通じて交流の場が増えていって

れたら嬉しいなと思います。児童館はこれからクリスマス会・木工教室（ツリー作り）・こま回し大会などたくさん行事を予定しています。たくさんさんの参加をお待ちしています。児童館の情報は、徳島市のホームページに掲載されていますので、ぜひチェックしてみてください。



片栗粉を使った科学実験



右のQRコード  
徳島市・児童館のページ  
（毎月のじどうかんだより）

多家良・八多

シニアクラブの現状について

多家良宝寿会

高山 宏行

本年度は、多家良宝寿会（会長高山宏行）六十四名・八多長寿会（会長坂東武）五十八名の会員数で活動が始まりました。五月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、地域を取り巻く環境は変化し、少しずつ落ち着きを取り戻しはじめておりますが、課題も多く、それぞれの事業の参加者も限定され減少傾向になっており、新規会員の増加が求められているのが現状です。一部ですが、両会の本年度の現在までの活動状況を報告いたします。

八多長寿会では、毎週月曜日に「百歳体操」を開催しております。また、定期的に八多分館前の「花の手入れ」活動を実施しています。四月に「総会」と「食事会」、五月に「春季日帰り旅行」、九月に「食事会」と四年ぶり

になります。八多町敬老会を午前中の制約の中、盛況に開催しました。十一月に「秋季日帰り旅行」を実施しております。

多家良宝寿会では、毎週火曜日に「百歳体操」を開催しております。また、同日定期的に医学療法士の方から「体力測定」「新健康体操」「フレイル予防講習会」等を実施して頂いております。四月に「花見会」、六月「総会」と「コミセン清掃奉仕活動」、九月に「親睦食事会」、十月に「シニア連合芸能祭」を開催しました。

両会同時開催事業としては、十月に「宮井小学校運動会」、十一月に「自主防災会防災訓練」に参加しております。これからも多くの方が気軽に参加出来る行事を開催し、お声がけして行きますのでよろしくお願ひします。

今後も皆さまと共に、地域の高齢化が進む中、高齢者の皆様が明るく健康で楽しく過ごせる、住みよい地域を目指し魅力あるクラブの活動を進めて行きますので、更なるご支援、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。



コミセン奉仕活動



八多町敬老会 演芸会

多家良・八多地区自主防災訓練

災害避難支援マップの作成と活用

多家良・八多地区自主防災連合会

事務局 中島 茂範

三十年以内の発生確率が七十〜八十%と見込まれている「南海トラフ巨大地震」に対応したハザードマップをはじめとした防災マッ

プが徳島市から公開されています。この度、防災マップの実効化と自助・共助による地域防災力の向上を図るため、多家良中央地区(多家良町・八多町)において災害避難支援マップを徳島市及び徳島大学の協力を得て作成しました。

災害避難支援マップの作成目的は、災害規模や範囲を示したハザードマップを補って、「安全で迅速な避難」を実現させることです。具体的には、各人が様々な被災状況を想定して、限られた時間と避難可能範囲から「こんな場合は、この道でこの場所に避難する」を考える一助とすることです。この作成目的を受け、六月から八月にかけて多家良中央コミュニティセンターにおいて、四回のワークショップと各地区での「まち歩き」を実施して、災害避難支援マップを作成しました。延べ人数三百名を超す方々からの多くの意見やアドバイスをマップに反映させて頂きました。

完成した災害避難支援マップを有効に活用すべく十一月五日に大地震及び大水害を想定した避難訓練(約百七十名参加)を実施しました。多家良町四地区、八多町四地区のそれぞれの地区から一時(いつとき)避難場所に集合し、災害避難支援マップを見ながら安全を確認しつつ避難所の宮井小学校に徒歩または自動車避難する内容でした。その後、宮井小学校体育館にて徳島市危機管理局吉田浩章次長から災害避難支援マップの意義と活用について、「共通認識をもつためのマップ」「育てるマップ」「伝えるマップ」の観点から講演を頂きました。

今回、災害避難支援マップの作成からその活用まで取り組んできました。いつ来るかわからない大災害に備えて、多家良中央地区全世帯に配布しました両面印刷三枚の災害避難支援マップをすぐ取り出せる場所に保管し、万一の災害時に有効活用して頂けたら幸いです。



災害避難支援マップ作成



吉田次長による講演会

## 多家良中央地区の 避難支援マップを作成しました

徳島市危機管理局 防災対策課

主事 濱田 亮太

多家良中央地区のコミュニティ協議会、自主防災連合会及び町内会等と徳島大学、徳島市協働のもと、多家良中央地区の災害避難支援マップがこの度完成しました。

多家良町・八多町における地震や大雨の際の危険箇所等が記載されていますので、マップを御覧いただき、実際にまちを歩いて危険箇所を確認したり、若い世代の方や新しく地域に生まれた方への情報共有の資料として御活用ください。

避難支援マップは多家良中央コミュニティセンターに掲示しているほか、徳島市のホームページにて公開されています。



避難支援マップの例  
(中宮井・下宮井他)



避難支援マップ  
(徳島市のページ)

## 八多町道路促進協議会だより

八多町道路促進協議会

会長 瀬畑 俊夫

八多町道路推進協議会の会長をさせていただいています。瀬畑です。

いつも道路拡張工事に、ご理解とご協力をお願いいただき、ありがとうございます。

現在の進捗状況、そして今後の予定についてお知らせいたします。今年度は、虹の橋葵ホスピタルの前の県道の拡張工事と、県道の水道管の打ちかえを行っています。

県道拡張工事は継続工事となっておりますので、みなさまには引き続きご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 多家良地区民生児童委員より

民生児童委員 金中 君江

民生児童委員の一斉改選があり、令和四年十二月一日より

多家良町 池本宣雄さん

八多町 立川博子さん

丈六町 和仁恵美さん

渋野町 入野敦子さん

主任児童委員 瀧 妙子さん

の五名が新しく委嘱され、中森会長を中心に十四名が多家良地区のお世話をすることになりました。お困り事などありましたらお気軽にご相談ください。

新型コロナウイルス感染症予防の為三年間活動が中止になっていました。四年ぶりにひとり暮らしの高齢者の方の食事サービス「むつみ会」を十月二十六日に予定していたのですが、コロナ感染者が急増、インフルエンザも流行してきたので取りやめました。一月には実施できることを願っています。

「ふれあいサロン」も来年一月から準備をしていきたいと考えています。昼食を一緒に取りながらみんなでワイワイと楽しく過ごしませんか。どなたでも参加自由ですのでどうぞ参加してください。

## 虹の橋葵ホスピタル

### 2024年新病院に向けて

医療法人かわせみ

理事長 竹内 真由子

昭和六十年に開院した八多病院は、地域の皆様にご支援をいただきながら長きに渡り運営してまいりましたが、令和三年七月より虹の橋病院グループにて運営を継承させていただくようになりました。そのような中、通院や入院されている患者様やそのご家族様に対し、より良い治療環境を確保するために、新しい病院の建築を行うことを決定しました。

新病院は令和五年十二月末に完成いたします。診療科目は精神科・心療内科・内科です。

地上五階建て病床数は二百二十一床となり、病院内一階は採光を十分に取り入れた、ゆったりとしたスペースに外来患者様のロビーを設けます。デイケアや売店も併設し、CTなどの医療機器も導入し、今まで以上に質の高い医療の提供ができると考えております。

今後、患者様だけでなく地域の皆様にもご利用いただける、また、より身近に思っていただけの地域に根付いた病院を目指してまいります。

今後ともご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



虹の橋  
葵ホスピタル  
ホームページ

シリーズ

八多・多家良の歴史探訪

第2回 宮井城と大匠寺

1500年代中頃、戦国時代到来を前にして、麻植遠江守（おえとうとうのかみ）は細川讃岐守に「この地を治めよ」と命じられ宮井城へ入った。

その宮井城は現在の宮井小学校の所にあつたと推察される。その一番の根拠となるのは校舎と運動場の間にある道路の校舎側に土塁が築かれており、今は格子状のフェンスに変えられているが、城を守るためにあつたのは間違いないことで、麻植遠江守の末裔である運動場北側に住まいする、麻植昂さん（故人）から聞いた話によると、運動場の中ほどには「中門」と呼ばれる田んぼがあり、東を通る道を隔てたあたりの田んぼは「お針子部屋」北側には「北門」また「冠木門」（かぶきもん）という場所もあつたと聞いている。このことは「徳島県の中世城館」という本にも書かれている。このほかに麻植さんから聞いた話では、宮井城へ忍び込んだ三好一族から送り込まれた間者（忍者）を捕え生き埋めにし、その穴の上に置いた石が今の体育館の前の前にあつた木造の講堂の入り口の横にあつて、その石の上に立つと祟りがあるといわれていたらしい。そういえば、縁の下には墓石が転がっていると聞いていたような気がする。

その話を聞いて、歴史を紐解けばこの阿波の地にあつては細川と三好の権力争いがあり、三好が覇権を握り細川の家臣だった麻植遠江守に間者が送られたのは当然のことと思える。その後、土佐の長宗我部元親が三好を破り阿波を制圧し、その頃丈六寺で、富岡の牛岐城主「新開遠江守」を謀で打ち取つたとされる「血天井」で語り継がれていることは、まさに、この時代を象徴する語種であ

る。阿波を制圧した長宗我部元親だが、織田信長に代わって天下人になろうとする豊臣秀吉によって土佐へと押しやられてしまう。そして、1582年（天正十年）宮井城は落城する。

その後、大匠寺がこの宮井城跡に建立される、その経緯は現大匠寺西田住職がかつてこの「東風」に寄稿して詳しく述べているのだが、再び触れることにする。

丈六寺（曹洞宗）の名僧「釈冲室」は蜂須賀家政から板野郡勝瑞村の見性寺（臨済宗）に居るように命じられていたが、徳川家光（三代将軍）上洛の時、家政公もその場において、その時妙心寺（臨済宗）の住職から、宗派が違うので見性寺を返して欲しいと言われ「釈冲室」の寺が必要となつたので、廃城となつていた宮井城の跡地に大匠寺を1623年（元和九年）建立した。その時、家政の実母大匠院（蜂須賀小六の妻）の十三回忌であつたため寺号を「大匠寺」とし「大匠院」の菩提寺としたと記されている。

このことから、私の根拠のない希望的観測



宮井城の土塁があつた場所（画像中央のフェンスの位置）

なのだが、この地域の米は「殿様米」といわれていたと年寄達から聞いてきた。それは、この地と蜂須賀家のつながりがあつたからではないだろうかと思ったりもする。

この「大匠寺」明治維新の廃仏毀釈によって、それまであつた祭祀米、年十石が廃止され、寺の規模も縮小され、当時は今の小運動場にあつたようだが1909年（明治四十二年）に小学校の建設に伴い八万村法花谷の養老軒に移つたとなつている、その後、環状道路の建設によって、また、元の大匠山に戻ってきたということである。

長々と書いてきたが、このことから、宮井城は小学校の敷地にあつたことは間違いない。

さて、この大匠寺は今年で開山四百周年ということになる。しかし、先にも書いたとおり、明治維新政府の命を受けた廃仏毀釈により、徳島藩蜂須賀家に関わりのある大匠寺は、寺の歴史に関する文書が廃棄され、建立された年代を証明するものがないということである。

建立に至つた経緯は、勝浦郡誌に記されているものだが、そこには何を根拠として書かれたものか記述がない。四百周年といつても「一つの区切りでしかない」と住職は言う。

「文化の森」の横を通る環状道路の建設に伴い移転を余儀なくされ、2004年に多家良町に戻つてきた大匠寺、わずか二十年足らずのうちに、第十八代西田慎吾住職の手により四百年の重さを感じさせる寺となつている。

ここに住む者はそのわずかな間に整えられていくさまを見てきたのだが、毎日の作務により生み出された空気は清く澄み、季節を感じさせてくれる境内の木々は絵の一角となつている。そして、坐禅を行う本堂は禅寺に相応しい風格をなしている。

申し込めば座禅をさせてもらえる、私も朝五時からの座禅を体験したことがある。住職より、その基本と心得を教わり座る。



現在の大匠寺（境内の紅葉）

鹿の鳴き声と共にその荒い息遣いも身近に感じ、鳥のさえずりが聞こえれば羽ばたきの空気の振動を感じる。やがて、自らの臓器の動きと血の流れまで感じ、己の身体が熱を発していることに気付く、息を吸い力を貰う。悩み多く困難なこの世にあつて、生かされている喜びが溢れ出てくる。そうした体験をすることができた。

口コミで噂を聞いた人が、遠くから座禅をしたいとやってくるそうだ。住職は言う「温泉に浸かるよりも心は温まる」。

あなたも、澄み切つた空気の中、一度、心をリセットしてみてもはどうだろうか。

（多家良町 金谷在住 石田哲治）

座禅をしたい方は、気軽に来てくださいます。問合せは、徳島市多家良町谷神2-2

大匠寺

西田慎吾

電話 050-260-6276

「フードバンクへの寄贈」のお礼

昨年度からの活動に本年度もご賛同いただき、多くの寄贈を賜りました。お陰様で、12名の住民の方から玄米700kg、白米10kgを、フードバンクとくしまに寄贈させていただきました。

ご協力ありがとうございました。



これまでに顕彰された地域貢献高齢者の皆様 (左のQRコード：徳島市のページ)



徳島市は十月一日の置市記念日に地域活動に貢献された方に地域貢献高齢者として、感謝状を贈呈しています。令和五年度は市全体で二十一名が顕彰の対象となり、多家良中央コミュニティ協議会からは西野博幸さんが感謝状を贈呈されました。おめでとうございます。

令和5年度地域貢献高齢者顕彰 西野博幸さん



多家良中央コミセン 施設利用(貸館)のページ

申込方法や利用の心得・利用料金につきましては、コミセン事務局へお問い合わせいただくか、コミセンのページ(左のQRコード)でご確認ください。空き状況は事務局(645-1109)へ問い合わせをお願いします。

- ・ 住民の皆様との集会(料金減免の条件有)
  - ・ スポーツ教室や文化教室
  - ・ 趣味のつどい
  - ・ 販売会
- (施設の利用例)
- 多家良中央コミュニティセンターの各会議室や和室・調理室は、多家良町・八多町の住民のみならず、どなたでも利用申請(2カ月前から申込可)と料金の支払いで、自由にご利用いただけます。

多家良中央コミセンの施設利用(貸館)について

災害が起こる前に 見直そう! 防災の備え



多家良中央コミセン 防災のページ

地域の冬以降の主な行事

令和5年	12月7日(木)	交通安全教室(公民館)
	12月11日(月)	餅つき大会(宮井小学校)
令和6年	1月7日(日)	二十歳を祝う会 (南部中学校地区合同・丈六コミュニティセンター)
	2月中旬	多家良中央コミュニティまつり(演芸祭)
	3月中旬	宮井小学校卒業式
	3月23日(土)	多家良保育所修了式

なお、予定は変更・中止となる場合がありますのでご確認ください。



多家良中央コミュニティ協議会は、徳島市宮井小学校区に属する多家良町及び八多町の区域(多家良中央地区)における各種地域活動の推進母体となるとともに、住民相互のふれあいと連帯意識を高め、自らの自覚と責任のもとに文化的で潤いのある地域社会を創造することを目的としております。

地域の皆様のご協力・ご支援をいただき、多家良中央コミュニティ協議会発行の広報誌「東風(こち)」は第20号を発行することが出来ました。心より御礼を申し上げます。

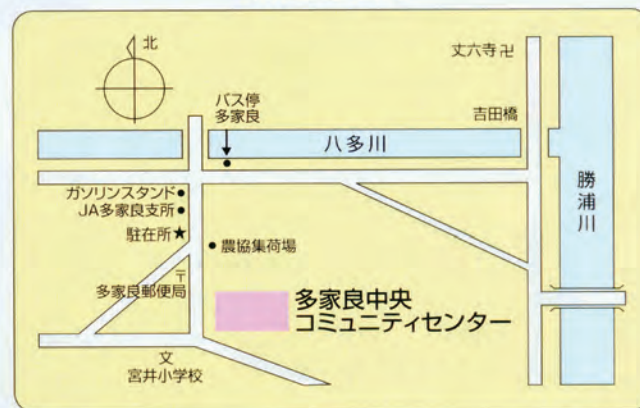
なお、平成15年8月発行の第1号から、最新の第20号までのバックナンバーは、多家良中央コミュニティセンターのページより御覧いただけます。



広報誌「東風」バックナンバー



所在地略図



〒771-4264 徳島市多家良町小路地10番地 TEL.088-645-1109 FAX.088-645-1109